

領内出張所 だより

第66号

平成27年11月15日発行

TEL 77-2001

E-mail ryonai@odaitown.jp



雨の予報を心配していた「領内秋まつり」は、雨に降られることなく開催できました。

今年は、昴学園高校の「太鼓部」の参加があり、開会式を盛大に盛上げてくれました。

学校での活動の成果の発表でもあり、会場のみなさんも聞き入っていました。



会場では、「200人鍋」あり、「やきそば」コーナーあり、「子どもゲーム」あり、子どもから大人までたくさんの方が楽しんでいました。

体育館では、「マジック、腹話術」と多彩なショーの参加もあり、一味違った秋まつりとなりました。

会場には、奥伊勢消防署宮川出張所から、消防車・救急車を配置して頂きました。

また、真手のジグソー工房は「花苗」の即売コーナーの出店で会場を盛上げて頂きました。

領内郵便局の「ポップコーン」サービスも人気で、会場の方も楽しんで頂けたのではないのでしょうか



やっぱり「200人鍋」は今年も大繁盛で来場者のお腹を満たしてくれました。



領内秋まつり最後のお楽しみは、餅まきでしょう。1日の中で一番大きな歓声が聞えていました。

今年も領内神社おまつりと共に、領内地区の大イベント「領内秋まつり」も盛大に、楽しく終わりました。

来年もまた楽しんで頂ける事と思います。

立冬・小雪の頃

二十四節気と七十二候|暦生活・コトバンク辞典 等より

11月8日(平成27年)立冬の日。この日から立春の前日までが暦の上での冬。北国では、初雪、初氷の知らせが届く頃で、木枯らしが吹き始めるころです。山々は美しい紅葉が見ごろになり、夕方の日脚が短くなり冬の気配を感じるようになり、「冬立つ」とも言われています。

■立冬の頃

暦の上でこの日から冬。暖かい鍋料理が食卓に出始め、「こたつ開き」が各家庭で始まる頃でしょうか。

11月15日は「七五三」ですね。神社へのお参りに行きます。千歳飴は子の寿命を願って長くなったようです。



11月16日の誕生花
紫紺野牡丹・・・花言葉(平静、自然)

■小雪の頃

11月23日から12月6日頃までを、小雪(しょうせつ)と言います。

積もるほどではないが雪が降り始める頃。お歳暮の準備する時期を迎えます。

■虹蔵不見(にじかくれてみえず) 初候

曇り空が多くなる頃で、陽射しが弱まり陽だまりを恋しく感じます。

夏の空のようにくっきりとした「虹」ではなく、ぼんやりと弱くすぐ消えてしまう、そんな寒空を想像させる季節の言葉です。

■朔風払葉(きたかぜこのはをはらう) 次候

木々の葉が冷たい北風で落ちる風景です。

朔風(さくふう)とは北からの風で、木々からの落ち葉は地面いっぱい広がっている、冬の寒々とした風景で、季節が移り変わっていく様子です。

■橘始黄(たちばなはじめてきばむ) 末候

橘(たちばな)の実が黄色くなっていく様子です。

3月の節句「ひな祭り」の段飾り正面左に「橘」、右に「桜」があります。

橘は、常緑植物であることから「永遠」を意味するとされその昔、「不老不死の実」だといわれていたようです。

■旬のもの

冬の果物は、蜜柑(みかん)でしょうか。ビタミンCを多く含んでいて「ガン」「骨粗しょう症」の予防に効果があるようです。

旬の魚、きのこが美味しくなる季節、マツタケ、リンゴやサンマに牡蠣でしょうか。

冬の季節、美味しいものを楽しみ、美しい紅葉を楽しみたいですね。

寒さが一段と増して来て、もみじが山々を染め初めてきました。

領内の山々も、冬の準備を始めています。

領内秋まつり「展示の部」の紹介をします。

今年も宮川保育園、宮川小学校、宮川中学校の園児、児童、生徒の皆様をはじめ一般の方より約230点の作品を展示して頂きました。

作品の一部を紹介します。



「パッチワーク愛好家」、「伊勢型紙愛好家」、「花綱の会」、「宮川つくしんぼ」のグループの皆さんと個人での出展と、領内ふれあい絵手紙教室参加者の作品の展示をしていただきました。

どの作品も力作ぞろいで、たくさんの方にご鑑賞いただきました。

「絵手紙教室へのおさそい」

中村芳男先生を招き「絵手紙教室」を開催いたします。

「絵手紙を書いてみたい」「貰って嬉しかった」「絵手紙」
を始めてみたい」そんな方、ぜひ参加して下さい。

日 時 12月1日(火)
午後1時30分～3時まで

講 師 中村 芳男先生
場 所 領内地域総合センター
電 話 77-2001

中村先生からメッセージ

朝夕寒くなりました。
絵手紙は「へ夕でいい へ夕がいい」
書いて楽しい もらって嬉しい。
温もりと思いやりを届けましょう。



夕暮れ時は危ないよ

11月に入って夕暮れが早くなり、車の運転で「危ないな」と感じたことはありませんか。

日没後「ライトを点灯」しないで走り続けている車。

後ろの車に曲がって行くことを知らせる「ウインカー」を点灯しない車。

自分は速度さえ出さず「ゆっくり走れば」危険はない。

車から降りて、道を横切る「車からは、私が見えている」

だから車が止る。

……そんな経験はないですか。……

夕暮れ時、自分と周りの人を守るため「夕暮れ時のライト・オン」
の実行を心がけましょう。

ドライバーからは、歩行者が見え難いものです。

「自分は渡れる」……夕暮れ時は明るい服装で「自分を見せて身を守りましょう」

「歩行者は止まって待っている」……暗いところではお互いが思い込んでしまう。

夕暮れ時の交通事故に気を付けましょう。



あとがき

秋が深まってきました。

夕暮れが、早くとても寂しい感じですが、

立冬を迎えて、朝がますます辛くなって来ました。

この時期、お鍋の出番が多くなってきました、ほっこり温かさが嬉しいです。

トマトの効能の特集をテレビで見ても、ちょっと調べてみました。

そのすごさは、美容と健康のため、食事で「抗酸化物質」リコピンが多く含まれる野菜を採ると、脳卒中になりにくい事、冷たいままで摂取するより、トマトなどに含まれるリコピンは熱処理した方が、摂取しやすいとか。

お鍋の最後に、栄養成分が豊富なトマトを入れて、雑炊なんか良いですね。

(木下)

